

03.ブルックリン エリア



ブルックリンは、運河を挟みマンハッタンの東側にあり、あの有名なブルックリン橋で結ばれているエリアです。マンハッタンのビジネス・商業施設を中心としたエリアとは異なり、居住系が中心で、低層～超高層までの住宅がエリア毎で整備されていました。マンハッタンの居住部は、比較的古い建物の上階にあり、壁面にエアコン用の室外機が設置され美観を損ねていましたが、ここでは、ほとんどが、隠ぺいされ好感が持てました。

今回、見て廻ったこのエリアでは、戸建は、ほとんど無く低層のテラスハウス（長屋）及び5階程度の低層の共同住宅の形態のものが多く建てられていた。又、道路は、歩道と共に街路樹が植えられ整備され居住空間としては、申し分ない環境となっていました。これらの居住エリアには、教会、小さな店舗等が固まって配置され、又歩行距離圏のその周辺には、中高層の共同住宅と公園を中心とした古い図書館、美術館、植物園などがあり、部分的にリニューアルされ、新しい建物との調整が図られて、居住エリアとしては、理想的なレイアウトとなっていました。

(石川清郁)